

《球磨川》 想定最大規模の洪水による浸水被害に備える！ ワークショップ形式によるタイムラインの検討を開始しました

- タイムライン作成に向け、まずは災害時に“住民の避難”への対応を行う自治体担当者出席のもと第2回検討会を開催し、ワークショップ形式により「水害が発生した際のリスク」や「水害時の防災行動」について議論しました。（平成29年11月22日）
- 災害時に防災対応をする自治体担当者が一堂に集まり「水害が発生した時にどのような状況になるのか」「どのような対応をとる必要があるのか」などについて議論したことで、異なる部署の対応も含め、お互いの防災対応を確認し、タイムラインを具体的に作り上げていく検討を開始しました。

球磨川の水害リスクを学ぶ



多くの方が、この検討会に初めての参加だったことから、八代市における球磨川の水害リスクについて八代河川国道事務所より説明しました。

水害発生時に想定されるリスクは？



異なる部署の担当で班編成をし、球磨川で水害が発生した際に想定されるリスクについて、班ごとに議論し、付箋紙に書き出しました。付箋紙はグループごとに仕分けし、次の議論へのウォーミングアップは完了です。

想定されるリスクに対応する行動は？

担当部署ごとに班編成し、想定されるリスクに対応する防災行動を議論しました。議論した結果は全体で共有しました。

